



白聖

はくあ 第14号 令和7年10月29日発行



《2 学年 大学ドリーム講座》

10月23日（木）に、2年生全員を対象に「大学ドリーム講座」が開催されました。大学ドリーム講座は、大学の模擬講義を受講することで、「学問」が人間・社会とどう関わり、いま直面する課題をどう解決し、どのような世界を築いていくかということについて考えを深め、自らの進学志望の具体化に役立てる、を目的として毎年進路指導部が企画しています。今年度は、5つの大学から9名の講師をお招きしました。2年生は9つの学問分野から自分の興味・関心のあるものを選択して、それぞれ大学レベルの講義を受講しました。

	系統	大学・学部
1	人文科学	東北大学 文学部
2	経済学	東北大学 経済学部
3	法 学	弘前大学 人文社会科学部
4	教育学	東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構
5	理 学	東北大学 理学部物理系
6	工 学	東北大学工学部 化学・バイオ工学系
7	農 学	岩手大学 農学部
8	情報学	公立はこだて未来大学 システム情報科学部
9	医 学	弘前大学 医学部

高校生が普段は触れる機会が少ない大学レベルの学問や研究に触れ、生徒たちはいかに高校までの基礎学力がいかに大切なのかを理解するとともに、大学進学の前にある「大学での学び」や「研究とは何か」を考えさせられる貴重な体験となったようです。以下は参加した生徒の学問分野別の感想を抜粋・編集したものです。



..... 人文科学

- ◆まだ解明されていないことを研究して、一つずつ明かしていくことにとてもロマンを感じる。千年前に創作された物語を、今現在の私たちが読んでも、当時の人々との気持ちを共有していることに感動させられる。
- ◆紙は燃えやすく水に弱いため、次の世代へ残していくことが大変なので、昔に作られた作品が現存していることはとても貴重であると感じた。本や物語を繋いでいくこと（散逸させないこと）が大切なことだと思った。

..... 経済学

- ◆経済学は「お金や市場」の動向を思い浮かべ、何となく数学を用いるというイメージだったが、実際には「世の中の仕組みをうまく設計し、人々を助けるためにどうするか考える」ことだと知り衝撃を受けた。
- ◆「もったいない」をなくすためにどうするのかを考えるのは面白かったし、経済学の拠り所である「競争」について、男女の違いやそれによって起こる影響について知るの是非常に興味深く、充実した時間だった。

..... 法 学

- ◆法学を学ぶことは物事の見方が増え、あらゆる思考を論理的に構築する力を養うことに繋がると知り、これまで以上に興味を持つことができた。
- ◆法学は身につけた知識で、自分や大切な人を守ることができる点が大きな強みであることが印象に残った。身近な生活に目を向けると自分が思っている以上に法律に関わっていて保護されていることに気が付いた。



..... 教育学

- ◆「教師像」の講義を聞いて、教師は役者に似ているという考え方が新鮮に感じた。これまでの学校生活の中で様々な先生方と関わる上で感覚的に感じていたものが言語化され、論理的に思考につながり、自分の考えとして持てたことが嬉しかった。
- ◆教師に求められる観点として、専門性と人間性の二面性があることを知ることができた。教師になるために何が必要なのか時代とともに変化しており、自分自身にしかできないことを子供たちと一緒に学んでいく姿勢や考え方が大切なのだと感じた。

..... 理 学

- ◆今のこの宇宙を創っている素粒子の数は果てしなく膨大だけれども、始まりのビッグバンのときはその果てしない数の素粒子が集まっている、ということがとても信じられず、量子の世界では、自分の持っている常識が通用しないことにロマンを感じた。
- ◆数学が理学の根底にあるには、論文などを書くときの論理的な表現を支えるために数式を用いるためだと分かった。物理学を学ぶことで身につく論理的思考力や新しい課題を発見する力は、今後の社会でも求められる力なので、これから力を入れて勉強していきたい。

..... 工 学

- ◆物質生産において、天然物だったり人工物だったり、どちらも良いところと悪いところを持っていて、素材の個性を生かした「ものづくり」というものが興味深く感じた。研究において、興味を広げて様々なことに疑問を持つことが大切だと分かったので、これからは常にアンテナを張って学校生活を送りたい。
- ◆バイオ工学科は、身の周りにあるものすべてに関わるオールラウンダーな学問であると知り、大学にいますきだけでなく、卒業して就職してからもさまざまな分野で関わっている人があるのだと感じた。また、日常の当たり前になぜという疑問を感じて研究していくことが大切だと学ぶことができた。

..... 農 学

- ◆ゲノム編集と遺伝子組み換えを混同しがちであったが、その違いを理解できた。ゲノム編集については、

倫理的な問題を唱えられることも多い技術かもしれないが、主に食糧問題を解決するポテンシャルを持ち合わせていると思うし、自分も将来はこの研究に携わって社会をよい方向に変えていきたいと思った。

- ◆普段の生物の授業では学ぶことのできない農業とゲノムとの実践的な活用方法を知り、新しい技術を活用した農業を通して、より豊かな生活を作り出すことが実現可能になっていると感じた。

..... 情報学

- ◆普段使っている画像検索や文字認識の原理を学ぶことができて、その開発の裏にある努力とアイデアが非常に面白かった。国語などの情報工学とは関係がなさそうな教科も、思わぬところで役に立っていることを知り、意味のない教科はないという言葉思い出した。
- ◆データを形として認識するのではなく、数値にして計算、分割することに利点があることを詳しく知ることができた。自分が興味のあることを学ぶのにも様々な道があり、たくさんの分野の知識があると有利になるという話を、今後の進路選択や勉強に生かしたい。

..... 医 学

- ◆脈をとることは、病気の発見をするという医学的な面だけでなく、患者とのふれあいを通して信頼関係を構築することができる一面もあることが分かり、医師の仕事は病気だけに向き合うのではなく、患者と向き合うことなのではないかと思った。
- ◆医学を選んだ理由として、学問としての医学と、人と関わるヒューマニズムのどちらも含んでいること挙げていたので、そのような将来の選択の仕方もあるのだと分かり、自分の将来をしっかりと考えようと思った。
- ◆先生が工学部から医学部へ転身したという話から、自分の進路を決める際に、型にはまらずに広い視野を持って考えることや、決めた後に変える勇気を持つこと、何よりも決めた目標に向かって努力し続けることの大切さを知ることができた。

